

平成17年度 宮崎県教員採用試験復元問題

<教職教養>

1. 選択肢問題 (問題は復元できず)

- ・ 『エミール』・・・ルソー
- ・ 『民主主義と教育』・・・デューイ
- ・ 非指示的カウンセリング(来談者中心的カウンセリング)・・・ロジャース
- ・ 学習の準備性のこと・・・レディネス
- ・ スイスの心理学者・・・ピアジェ
- ・ 生涯教育・・・ラングラン 他

2. 選択肢問題

2003年12月の答申(学習指導要領改正の一部)

総合的な学習の時間の一層の充実について

総合的な学習の時間のねらいとして、各教科等で身に付けた(知識や技能等)を相互に関連付け、学習や生活に生かし、それらが(総合的)に働くようにすることを加えて規定した。

各学校において総合的な学習の時間の(目標及び内容)を定める必要があることを規定した。

各学校において総合的な学習の時間の(全体計画)を作成する必要があることを規定した。

総合的な学習の時間の学習活動を行うに当たっての配慮事項を明確にした。

3. 空欄補充問題 教育法規

地方公務員法第33条

「職員は、その職の(信用)を傷つけ、又は職員の職全体の(不名誉)となるような行為をしてはならない。」

地方公務員法第38条

「職員は、任命権者の許可を受けなければ、営利を目的とする私企業を営むことを目的とする会社その他の団体の役員その他人事委員会規則(人事委員会を置かない地方公共団体においては、地方公共団体)で定める地位を兼ね、若しくは自ら営利を目的とする私企業を営み、又は(報酬)を得ていかなる事業若しくは事務にも従事してはならない。」

(教育基本法)

「教育は、(人格の完成)をめざし、平和的な国家及び社会の形成者として、真理と正義を愛し、個人の価値をたつとび、勤労と責任を重んじ、自主的精神に充ちた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。」

「小学校には、設置者の定めるところにより、(校長)の職務の(円滑)な執行に資するため、(職員会議)を置くことができる。」

「(学校評議員)は、(校長)の求めに応じ、(学校運営)に関し意見を述べるができる。」

「児童虐待の防止等に関する法律」(2000年5月)に定められている児童虐待の定義の4つのうちの1つを書け。

- (1) 児童の身体に外傷が生じ、又は生じるおそれのある暴行を加えること。
- (2) 児童にわいせつな行為をすること、又は児童をしてわいせつな行為をさせること。
- (3) 児童の心身の正常な発達を妨げるような著しい減食又は長時間の放置その他の保護者としての監護を著しく怠ること。
- (4) 児童に著しい心理的外傷を与える言動を行うこと。

虐待されている児童を発見した時、どう対処しますか。

4 . 選択肢問題

宮崎ならではの教育について (復元できず)

5 . 空欄補充問題

学習指導要領 第1章総則 第5 指導計画の作成等に当たって配慮すべき事項

- (8) 各教科等の指導に当たっては、児童が(コンピュータ)や(情報通信ネットワーク)などの情報手段に(慣れ親しみ)(適切に活用する)学習活動を充実するとともに、視聴覚教材や(教育機器)などの教材・教具の適切な活用を図ること。

同和教育の目標に関する空欄補充問題 (復元できず)

学習指導要領 第3章 道徳

第1 目 標

道徳教育の目標は、第1章総則の第1の2に示すところにより、学校の(教育活動全体)を通じて、(道徳的な心情) 判断力、実践意欲と態度などの(道徳

性) を養うこととする。

道徳の時間においては、以上の道徳教育の目標に基づき、各教科、特別活動及び総合的な活動の時間における道徳教育と密接な関連を図りながら、計画的、(発展的) な指導によってこれを補充、深化、統合し、道徳的価値の自覚を深め、(道徳的実践力) を育成するものとする。

< 小学校全科 > 各教科 4 題くらい

国語

1. 学習指導要領解説 国語編から

「伝え合う力」とは、人間と人間との関係の中で、互いの(立場)や(考え)を尊重しながら、言語を通して適切に(表現)したり(正確に理解)したりする力である。

2. 日本最古の歌集にも用いられている仮名を何と言うか。

3. 作者を漢字で答えよ。(宮沢賢治)

彼の作品で以下以外のものを 1 つ答えよ。

雨ニモ負ケズ
風ニモ負ケズ
・
・

4. 学年の目標を〔言語事項〕と対応させると〔言語事項〕何に相当するかみたいな問題。

社会

1. 目標

社会生活についての理解を図り、我が国の国土と歴史に対する(理解)と愛情を育て、国際社会に生きる(民主的)、平和的な国家・社会の形成者として必要な(公民的資質)の基礎を養う。

2. 合っているものを 3 つ選ぶ。(5 つのうち)

例えば・・・。

第 3 学年及び第 4 学年の内容

(3) のア 飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理と自分たちの生活や産業とのかわりがあるとあるが、飲料水、電気、ガス、ごみ、下水の中から選択して取り上げる。

このように各学年の内容と内容の取り扱いの合致問題を問う。

3. 第 6 学年の歴史的事象を指導するときに配慮する事を 2 つ述べよ。

算数

1. 目標

数量や図形についての（算数的活動）を通して、基礎的な知識と技能を身に付け、日常の事象について見通しをもち（筋道を立てて考える能力）を育てるとともに、活動の楽しさや（数理的な処理）のよさに気づき、進んで生活に生かそうとする態度を育てる。

2. 次の単語を第1学年から第4学年までのどの学年で教えられるか3つずつ答えよ。

たんい	+	直線	等号	十のくらい	小数点	平行
仮分数		対角線	×	最小公倍数	約分	÷
直角		一のくらい		整数		数直線

3. 保護者から「なぜ電卓を使用しているのか。」ということを言われた。電卓を使用する理由を学習指導要領解説 算数編に即して2つ答えよ。

理科

1. 目標

自然に親しみ、見通しをもって（観察、実験など）を行い、問題解決の能力と自然を愛する心情を育てるとともに（自然の事物・現象）についての理解を図り、科学的な見方や考え方を養う。

2. 「ものの燃え方」の単元で酸素を作り出した。（酸素が泡となって出てくる実験）

実験には何と何を使用したか。

人間が生活に必要な酸素はどのようにしてできているかを6年生に分かるように説明せよ。（「A生物とその環境」で学習することを踏まえて）

3. 蝶（成虫）のからだのつくりを図を用いて3年生に分かるように説明せよ。

4. 電気の問題で2つの電池を用いて直列つなぎでプロペラを回す実験。1人の児童が同極をつないでいるためにプロペラが回らなかった。あなたはその児童にどのように指導するか。また、直列つなぎについてどう説明するか。

生活

1. 目標

（具体的な活動や体験）を通して、自分と身近な人々、社会及び自然とのかかわりに関心をもち、（自分自身や自分の生活）について考えさせるとともに、その過程において生活上必要な習慣や技能を身に付けさせ、（自立への基礎）を養う。

2. 第1学年及び第2学年の内容の具体的な視点10（学習指導要領解説 生活編 21ページ）のうち6つが書かれている。残りの4つを答える問題。

3. 動植物の飼育等に関しては2学年にわたって指導するものと示されているが、それはなぜか。

4. 小動物を飼育する時の配慮すべきことは。

音楽

1. 学年の目標（選択肢問題）

- ・創造的に音楽にかかわり、（音楽活動への意欲）を高め、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにする態度と習慣を育てる。
- ・（リズム）に重点を置いた活動を通して、（基礎的な表現の能力）を育て、音楽表現の楽しさに気付くようにする。
- ・（音楽の美しさ）を感じ取って聴き、様々な音楽に親しむようにする。

2. 内容 B鑑賞について空欄に適する語の組み合わせ

3. 次の楽器を 木管楽器、 金管楽器に分類せよ。

ホルン	バイオリン	サクソ	トランペット	ファゴット
トロンボーン	コントラバス	フルート	ビオラ	チューバ
チェロ	オーボエ			

4. ふるさとの曲名と指導学年

5. 卒業式で何曲か歌を歌う。（論述）

音楽の授業で指導することは。

曲想以外で指導することは。

図画工作

1. 目標

表現及び鑑賞の活動を通して、（つくりだす）喜びを味わうようにするとともに造形的な創造活動の基礎的な能力を育て、豊かな情操を養う。

2. 復元できず

3. 以下の条件でアイスコーヒーの絵を描け。

- ・ガラス製のコップ
- ・コーヒーの量はコップの50～80%
- ・混ぜるためのスプーンをつけて
- ・5分程度で材質感などを生かして鉛筆で描くこと

家庭

1. 内容の空欄補充問題

(3) (生活に役立つ物) を製作して活用できるようにする。

ア (布) を用いて製作する物を考え、製作計画を立てること。

イ 形などを工夫し、(手縫い) により目的に応じた簡単な縫い方を考えて製作ができること。また、(ミシン) を用いて直線縫いをすること。

2. 内容の(5) 日常よく使用される食品を用いて簡単な調理ができるようにすること。
下線部の日常よく使用される食品で様々な調理法ができるものを1つ。
材料の分量を量ることのできるものを1つ。
3. 「ゆでたまご」と「ほうれんそうのおひたし」をするとき卵とほうれんそうのゆで方にはどのような違いがあるか。

体育

1. 目標

心と体を一体としてとらえ、適切な運動の経験と健康・安全についての理解を通して、(運動に親しむ資質や能力)を育てるとともに、(健康の保持増進)と(体力の向上)を図り、楽しく明るい生活を営む態度を育てる。

2. 第1学年及び第2学年の「B ゲーム」は、ボールゲームと(鬼遊び)である。
第3学年及び第4学年の「B ゲーム」で、地域や学校の実態に応じて(バレーボール)型ゲームなどの運動を取り入れてもいい。
3. 「器械運動」や「表現運動」(「陸上運動」??)が入るのは第何学年からか。
4. 第5学年の保健から
心の発達及び不安、(悩み)への対処の仕方について理解できるようにする。

< 集団討論 >

25日のテーマ

『生命尊重教育の推進について』

- ・ 1 集団 8 人 22 分間
- ・ テーマを渡され、約 5 ~ 10 分待機室で考える。(メモあり)
- ・ 入室したら受験番号、氏名を言って面接官の合図で着席。
- ・ テーマに対する自分の考えを 1 分以内に。(1分過ぎたら途中できられる)
- ・ 1 人ずつの意見を聞いてテーマについて話し合う。(討論)
- ・ 討論中、面接官は一切口を開かない。自分たちだけで行う。
- ・ 時間がきたら、最後に 1 人 30 秒ずつ討論の感想を述べて終了。
- ・ 面接官 2 名

< 水泳 >

- ・ 泳法自由(50m・・・25mプール)
- ・ 1 組 8 名
- ・ タイム測定(タイム重視)